

9月定例町議会報告

9月定例町議会最終日の9月20日、歳入歳出それぞれに2億8、197万円を追加する平成28年度一般会計補正予算案等20議案が可決されました。主な内容をお知らせします。

民主 関ヶ原

第358号
2016年
10月9日
(日曜日)
発行
日本共産党
関ヶ原支部
☎43-2009

田中議員の一般質問より

関ヶ原病院「有床診療所化」は拙速！もっと議論を

関ヶ原病院を19床の診療所にする問題について、田中議員は診療所化に反対する立場から、診療所になった場合の対応を聞き、「提案をしてからすぐに決定するのは、あまりにも拙速ではないか。立ち止まってもっと議論をするべき」と質問しました。

町長は「88床では維持できる数字ではない。早急な対応を考えてのこと」と来年度から有床診療所にするこを改めて述べました。

老人福祉センターお風呂の代替えは町の責任で

老人福祉センターの取り壊しを見据えて、事務所や活動場所などの移転先が検討されています。お風呂は高齢者の健康増進や居場所、生きがいづくりに大きく貢献しています。町の責任で代替え措置を求めました。

町長は「センターの代替え施設は既存の施設を利用することになる。お風呂は利用者を見捨てるわけではないが、効果を検証する必要がある。」と答弁しました。

生活相談は「ちらへ

田中ゆき子 Tel 43-0960
f a x 51-2802
そめや君子 Tel・FAX 43-2009

移住・定住対策の強化を

今年度空き家調査が実施されています。田中議員は、上石津の時地区が空き家を活用した移住対策が成果をあげていることを紹介し、関ヶ原町の取り組みを質問しました。

町長は「今年度末には空き家の調査結果がまとまる。空き家バンクにうながしたい。」と述べるにとどまりました。

3年間で40人の移住実績 上石津の移住対策を聞いてきました

9月8日、上石津地域振興局の担当者、時地区の世話役の方のお話を聞きました。①「どういふところに」「どういふ人に」来てほしいか、「何を“売り”にするのか」移住ニーズにかみあったターゲットをしぼること②地元の人々の協力が要③行政が流れを作りどう支援するか一を教えてくださいました。

上石津の移住実績は3年間で18世帯40人が移住されたとのこと。大変参考になりました。関ヶ原も真剣に移住対策の強化が必要です。(田中ゆき子)

古戦場グラウンドデザイン 観光案内看板設置に二億六千万円―県が補助

議会最終日、一般会計補正予算が追加されました。広域観光の共通史跡案内看板設置工事に1億6千6百万円で、全額県の補助です。広域案内看板2基(イメージ図)大型解説看板14基、誘導看板など全部で80基ほどを設置する予定です。

田中議員は、地域の業者等が受注できる機会をつくるよう求めましたが、特殊な加工であることや、工期が短いため難しいとのことでした。

サインデザインのイメージ



<一般会計補正予算の主な内容>

- ・街路灯LED化補助金 79万5千円
- ・介護ロボット導入補助金 92万7千円(優・悠・邑へ)
- ・関ヶ原病院補助金 2億5千万円
- ・集落営農法人化に伴う各種補助金(松尾営農組合) 692万6千円
- ・徳川家康最初陣地景観復元工事 1千万円
- ・耐震診断助成金(JA今須) 47万2千円
- ・石田三成陣地、決戦地整備工事監理委託料 150万円
- ・本陣スタジィ(天然記念物)伐採業務 42万9千円
- ・ふれあいセンター 空調機等修繕 58万8千円
- ・その他 (財源内訳は省く)

関ヶ原病院は町民の健康のよりどころ！ ベッド数を大幅縮小しないで

「関ヶ原病院問題を考える会」の皆さんが 町長に要望書提出 (9/21)



縮小案に住民から

不安続出！

九月二十一日、「関ヶ原病院問題を考える会」(代表 染矢健一氏)の皆さんが「関ヶ原病院は診療所化せず、現行の88床を存続してほしい」と要望書を西脇町長に提出しました。

四月に現行の88床にしたばかりの関ヶ原病院、それが8月末には町民説明会の場で19床を提案。余りにも短期間での方針決定です。

大垣市民病院から退院後、関ヶ原病院は入院が出来るの？

関ヶ原病院は4月の時点で「大学病院などの手術した後の受け皿としての役割を担う病院」として地域包括ケア病棟の方向を決めました。しかし、わずか19床でその受け

皿が確保しても
らえるのかと心配になります。

お年寄りが増え、「病気になる時、近くの関ヶ原病院で入院できるのか」「MRIなどの医療機器がなくなったら検査だけで遠い病院に行かない

いといけない」「町に眼科が一つもなくなる」色々な意見、要望が町長との懇談で出されました。西脇町長は「四月に減らしたがさらに経営が厳しくなつた。何とか入院設備を残すための、苦渋の決断をした。」と述べました。

医療・福祉が

大事にされる町がいい！

限られた予算の中で、町民の皆さんの血税を何に使うのか。この事が問われる問題でもあります。医療・福祉が大事にされる町がいいと私たちは思います。医療の拠点としての関ヶ原病院を確保していくために、住民と職員が一丸となって取り組むことが重要です。

国は小規模公立病院を

潰してしまうのか！

今、地方の公立病院は多くが存続の危機にあります。岐阜でも中津川の坂下病院が無床診療所化の方針を提案しました。全国でも48病院が民間譲渡・診療所化(26年度年末)しています。

危機の原因の一つに診療報酬の相次ぐ引き下げです。また国の医療政策がくるくる変わり、その対応にいつも各病院は振り回されています。たとえば「長期療養型が必要になってくる」との方針に関ヶ原病院も対応しました。しかしすぐにその方針が変わってしまいました。

国の税金は、

医療・福祉を一番に！

国は「高齢化が進み、医療費がかかりすぎる」とすぐに言います。保険料もあげ、医療費の自己負担も増えました。しかし軍事費だけは増える一方です。ここにしっかりとメスを入れないと、泣かされるのは中小病院であり、住民ではないでしょうか。

今夜の一品

ピーマンとシーチキン
レンジでチンの簡単おかず



材 料

- ピーマン 5~6個
- シーチキン1缶
- 顆粒鶏ガラスープ小さじ1
- 塩コショウ少々
- ごま油おおさじ1

ピーマンを縦に細切りにする
耐熱容器に材料全部混ぜる
レンジで様子を見ながら5~6分
途中取り出して混ぜる
冷まして出来上がり
温かなくてもおいしいですが、冷ましたほうが味がしみておいしい